

沖縄男女V 全国へ

中学ハンド

JOC九州地区予選

中学ハンドボールの第27回ジュニアオリンピックカップ九州地区予選会は6、7日、福岡県で行われ、男子決勝で沖縄は鹿児島を28-23、女子決勝で沖縄は鹿児島を延長戦の末に20-18

でそれぞれ破り、アベック優勝を果たした。

上位チームは12月、埼玉県で開かれる全国大会に出場する。

【男子】

▽1回戦

沖 縄 23 131 10 7
鹿 児 島 20 福 岡 17 宮 崎

▽連決勝

沖 縄 23 121 11 9
鹿 児 島 20 福 岡

▽決勝

沖 縄 28 101 8 121 11 23
鹿 児 島

【女子】

▽1回戦

沖 縄 22 111 5 3 8 長 崎

速攻さええて圧倒

男子

春夏の全国大会を連覇した神森中などが主力で入る男子沖縄は、決勝で鹿児島を28-23で下し頂点に立った。3人のGKによる好セ

▽連決勝

沖 縄 19 8 11 4 9 13
熊 本

▽決勝

沖 縄 20 延 8 7 8 9 6
鹿 児 島 18 鹿 児 島 3 2 1 2 1 1

堅守で延長制す

女子

1ブや鹿児島のパスミス奪っての速攻が決まり、

前半は18-11と圧倒。後半はゴール前を固められる守備陣形の変更と相手の高さにてこずったが、逃げ切った。

中心の伊禮楓雅(そあ)をU-16日本代表の韓国遠征で欠く中、村山倅輝や照屋慶剛らが活躍。友利彬彦監督は「主軸がない中で優勝は選手の自信につながった。個の力を高めて全国一を目指す」と語った。

女子沖縄は決勝で延長戦の末、鹿児島を20-18で振り切って優勝した。全国中学総体3位の美東を軸に仲西、浦添、東風平、昭葉村の選手を加えて編成。県外のレベルを体感させようと盛んに選手交代し、全員で栄冠をつかんだ。

金城菜々子のパス回しがさえ、砂川菜穂がカットインシュートを決めるなど、前半は一時6-1とリード。後半は逆転を許したが粘って延長戦に持ち込むと、GK比嘉楓の好セーブからの速攻が決まった。

平良徳彦監督は「全国ではしっかり守り、速攻や多彩な攻めで優勝する」と誓った。

①男子優勝の沖縄②女子優勝の沖縄(いずれも提供)

